

昭和区の花・ハナショウブ

平成元年11月に昭和区の花に制定されました。ハナショウブはハナショウブを原種とする多年草で、多くの品種があります。6月頃茎の頂に大形の花を開き、紅紫・白・絞りなど花色も豊富です。

鶴舞公園の中にある菖蒲池は、約90種類、2万株のハナショウブが植えられており、初夏の開花の頃になると、多くの人々が訪れます。池といても、通常は水を張らず、ハナショウブの開花時期にだけ水を張り、水面に映るハナショウブの水際の涼しさを演出しています。



咲き誇るハナショウブ(鶴舞公園 菖蒲池)

ぶらり昭和区MAP ～鶴舞・村雲・白金～

製作：「ぶらり昭和区MAP」製作委員会
桜花学園高等学校インターアクトクラブ
昭和区案内人クラブ
昭和鯉公会
八事・秋中歴史研究会
協賛：名古屋昭和ロータリークラブ

昭和区まち歩きアプリ「Show MAP」
ダウンロードはこちら
<http://yagoto-nkc.sakura.ne.jp/showmap/index.html>

発行：名古屋市長和区役所
TEL 052-735-3822 FAX 052-735-3829
2019.3 3,000部

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

A 鶴舞公園

a 名古屋公会堂

昭和天皇の御成婚を祝って昭和5年、開館しました。大ホールでは演奏会や音楽会などが開催され、文化や社交の殿堂としてにぎわいました。戦後は約10年間にわたって米軍に接収されましたが、接収解除後は、多彩な音楽会や演劇などが催され、豊かな芸術文化の拠点として市民に親しまれてきました。平成29年4月から平成31年3月にかけて、改修工事を行いました。



b 噴水塔

明治43年(1910)の共進会会場の正面広場を飾ったのがこの噴水塔で、その後、鶴舞公園のシンボルとして市民に親しまれてきています。
地下鉄鶴舞線工事に伴い解体されましたが、昭和52年に築造当初の姿に忠実に復元されました。この噴水塔は、大理石の円柱に岩組を配した和洋折衷の明治調をよく表現し、全体としてはローマ様式の変化のある豊かな水景を形づくっています。

c 奏楽堂

共進会開催を記念して、噴水塔とともに建てられたルネサンス風の建造物で、設計者は噴水塔と同じ鈴木楨次工士です。細部には、屋根飾りのハープ、舞台を囲む手すりには「君が代」の楽譜がデザインされています。
昭和11年から平成7年まではデザインが異なる奏楽堂が建てられていましたが、平成9年に築造当時の姿に復元されました。



B 観音菩薩像

昭和44年3月、尾陽神社にあった秋葉堂を都合により取り壊した際、地域の人によって現地(邸宅の道沿い)に祀られたものです。観音像には、寛政6年(1794)と書かれています。



B 不動明王像

観音菩薩同様、尾陽神社の秋葉堂を都合により取り壊した際、地域の人によって現地(邸宅の道沿い)に祀られたものです。不動明王像には、文化14年(1817)と書かれています。



B 地藏菩薩像

このお地藏さんは、昔近くの畑に埋まっていたものをみんなで掘り起こして、お世話をしていましたが、時代とともに世話をする人が少なくなり、50年前ほどから現地(邸宅の道沿い)に祀られるようになりました。「昔、ならず者が追われて、この地藏の後ろに隠れていると見つからなかったということから、地藏を家に持って行って安置したのですが、病気になるってしまったので、また元の位置に返した。」というエピソードがあるそうです。



まっごり、まのぼの。 まちのスポット。

C イヌ型の消防団詰所

若葉児童遊園地内にある白金消防団の詰所で、昭和61年に建てられました。児童遊園地遊びに来る子どもたちにも親しみを持ってもらおうと、アイデアをこらした外観になっています。モチーフはブルドッグで、おしりが入り口になっています。地域の消防団員とともにまちの安全を守っています。

D ハヤ橋湯

創業明治17年(1884)の井戸水を新で炊く昔ながらの銭湯です。工場や建設現場などで出た廃材を薪として使用しています。歴史ある建物は名古屋市登録地域建造物資産にも登録されています。

E バナナの落合商店

昭和12年に先代がこの地でバナナの加工業を始めた頃、市内に24軒ほどあった同業者は、現在3軒に。青くて固いバナナを室(むろ)に入れて5日から1週間ほど熟成させ、保冷庫に移すという加工技術が、甘みが強く香りの良いバナナを生み出します。店内にはホイストという巻き上げ機や地下室(ちかむろ)、上室(うわむろ)などがあり、話好きのご主人が説明してくれます。加工済みのバナナは市内の八百屋や果物屋に出荷されますが、根強いファンのために店の中でも販売しています。



こんなところにこんなもの。 ちょっと楽しいスポット発見。

F 名工太の門とモニュメント

名古屋工業大学は明治38年(1905)に創設された名古屋高等工業学校が前身で、名古屋初の国立学校でした。
正門を入ると前庭にはニュートンリングと呼ばれるモニュメントが設置されています。このモニュメントや正門の4つの円弧にはそれぞれ8桁の数字が記されています。この数字は、有名な4人の科学者(レオナルド・ダ・ヴィンチ、ガリレオ・ガリレイ、アイザック・ニュートン、ルネ・デカルト)の生没年を表しているそうです。どの数字がどの科学者にあたるか、クイズに挑戦してみましょう。

G 名大病院・旧正門と塀 展望レストラン

明治4年(1871)設立の仮医学所を前身とする愛知県立医学専門学校が、大正3年(1914)に現在の地に移転しました。その後、愛知医科大学へ昇格し、名古屋医科大学への移管を経て、昭和14年に名古屋帝国大学医学部、戦後名古屋大学医学部になりました。

戦前の建造物の多くは空襲で焼失しましたが、損壊を免れた旧正門と塀は、明治・大正期の近代建築の貴重な歴史遺産として国の登録有形文化財に指定されています。

また、病棟の14階の展望レストランは鶴舞公園を一望できるビュースポットです。



鶴舞・村雲・白金エリアって？ ～そのあらし～

昭和区の西部に位置するこの地域は、御器所台地を中心とした地域で、高低差が約15mあるため、急坂や崖を見ることができます。台地上には、古より集落が発達し、由緒ある神社や寺社など点在しています。

御器所村だった頃、精進川改修工事で発生する土砂を利用してこの地域の沼地を埋め立て、明治43年(1910)開催の第10回関西府県連合共進会の会場となりました。これが鶴舞公園の始まりです。

精進川は明治43年(1910)に新堀川と改称され、以降、河川両岸には工場や木材業者の店舗が立ち並びはじめました。やがて、昭和30年代以後の高度経済成長時代には、この一帯は工業地帯として急速に発展していきました。

また、東郊通の南北付近では、大正元年(1912)からの耕地整理事業により、天池の埋立て等耕地の整理が進み、その後、都市化に向けた宅地造成が進み、現在の市街地の基礎ができていきました。

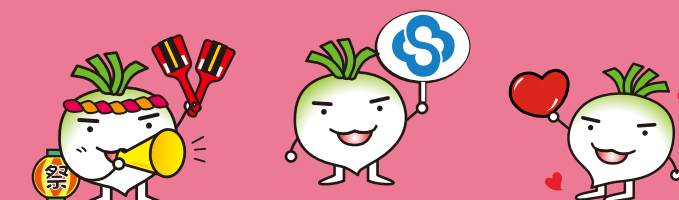


※明治43年(1910)第10回関西府県連合共進会時の噴水塔。奥に見える城は愛知県の売店。

共進会とは、明治時代に開催された地方博覧会だよ！当時の優れた工業製品や農産物などが出品されたよ♪

昭和区のマスコット ショウちゃん

ぶらり昭和区MAP ～鶴舞・村雲・白金～



名古屋市長和区役所

鶴舞公園マップ

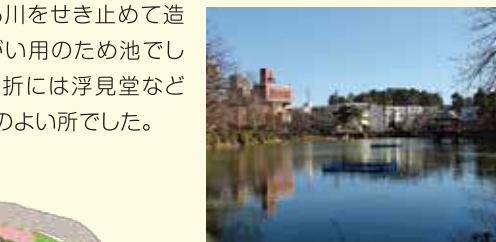


h 吉田山

この丘陵地は、初代名古屋市長(市制前のごと)吉田禄在の所有地でした。禄在は、名古屋を経由する幹線鉄道(東海道線)建設の誘致をはじめ名古屋の礎を築き、近代化に尽力した人です。共進会の際に土地を寄付し、金閣寺を模した貴賓館(聞天閣)が建てられました。昭和3年の博覧会時は美術館が建設され、その後猿面茶席(後に国宝)、松月斎が移築されました。戦中は高射砲陣地となり、各施設は全て戦災で焼失してしまいました。
また、大昔はその台元まで潮が満ち引きする海だったため、貝塚が発見されています。

i 竜ヶ池

鶴舞公園ができる以前、このあたり一帯は旧御器所村の水田や大根畑が広がる田園地帯でした。この池の水源は、千種区の猫ヶ洞池で、吹上方面から流れる川をせき止めて造られたかんがい用のため池でした。共進会の折には浮見堂などを設け、眺望のよい所でした。



j 胡蝶ヶ池

明治43年(1910)の共進会の時に造られた池で、鶴舞公園が整備されてからもそのまゝの形で残っています。池全体を上から見ると蝶が羽を広げた形をしています。北側の池には、6月から7月にかけて池一面にハスの花が見られます。南側の池にある「中の島」には青銅製の「鶴の噴水」などがあります。



k 酒匂の滝

登竜橋から竜ヶ池の対岸に目を向けると、落差4mの滝が見えます。周辺の市街化により、補給水が断たれ、汚れが目立ってきたので、昭和30年、近くのビール工場の冷却水が引かれました。「酒匂の滝」と命名され、これは実現のため絶大な協力を惜しまなかった時の工場長「酒匂常伸」氏にちなんで付けられました。

テラスが鶴舞(多目的グラウンド)

平成30年にオープンした人工芝の多目的グラウンド2面と、おしゃれなクラブハウスが目印のスポーツ施設です。「テラスポ」とはテラスとスポーツを組み合わせた造語で、「市民のテラス空間」として、交流や憩いの場にしたいというメッセージが込められています。サッカーのみならず、様々なスポーツやレクリエーションが楽しめるコミュニティグラウンドとなっています。



m 八幡山古墳

直径82m、高さ10mの規模を誇る東海地方最大の円墳です。大正8年(1919)、鶴舞公園に編入され、昭和6年、国の史跡に指定されました。
5世紀前半に名古屋台地を支配した豪族の墳墓とみられ、出土した埴輪(はにわ)などは戦災で失われました。八幡山の名は、御器所八幡宮の奥宮があったからで、いろいろ神事が行われたとも伝わっています。

